

環境とCSRの意識高揚

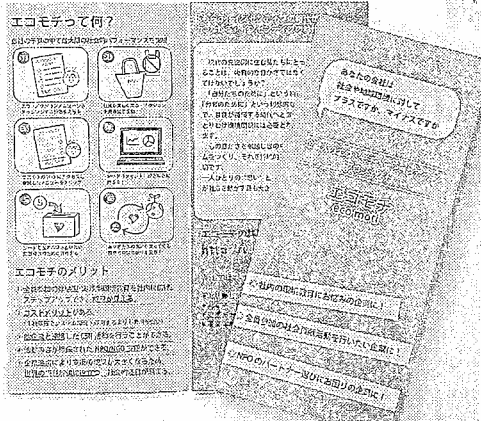
フルハシ総研 企業に仕組み提案

来年春、ウェブ開設

貢献社員に ポイント NPO支援へ寄付

環境コンサルティングのフルハシ環境総合研究所（本社名古屋市中区金山一ノ二ノ一四・金山総合ビル七階、船橋康貴社長、電話052・324・5351）は、来年四月一日に「エコモチ・ウェブ・システム」をスタートさせる。企業人の環境意識とCSR（企業の社会的責任）意識を同時に高めるためのプロジェクト「エコモチ」を推進するため、プラットフォームづくりを行うのが狙い。十四日、東京ビッグサイトのエコプロタックス展会場でキックオフイベントを行い、参加企業の募集を開始。来年四月までに百社の勧誘を目指している。

エコモチは、環境に良いポイントを与え、蓄積とができる取り組み。当初の支援先は、砂漠化防止、保険・医療、教育支援関係など十団体を「エコモチ」のポイントをNPO・NGO支援に役立てるという。



参加を呼び掛ける「エコモチ」のパンフレット

予定。エコ・マナーに似ているが、ポイントを自分のためではなく、ボランティア活動に生かせる点が異なっている。

社員の環境意識やCSR意識をいかに向上させていくかに悩む企業に、ひとつの仕組みを提案することにしたもので、「エコ・モチベーションアップ」を略して「エコモチ」と名づけた。

これまでに、ソニーや味の素などの参加を得てコンソーシアムを編成し、テストランニングを

実施した。参加者は五百二十六人。テスト後のアンケート調査によると、「意識が変わった」「意識だけでなく行動が変わった」と答えた人が八割を超え、良好な結果が得られたことから、本格実施に踏み切ることにした。

ウェブの立ち上げには、参加企業の交流を促進し、全体で環境行動やCSR活動を盛り上げていくという狙いもある。「ある企業が森林の保全活動を計画したら、そこにほかの企業の社員も参加できるような動きを生み出していきたい」（船橋社長）としている。